

DIAGNOSTIC TOOL

操作ガイド

HDM-10000

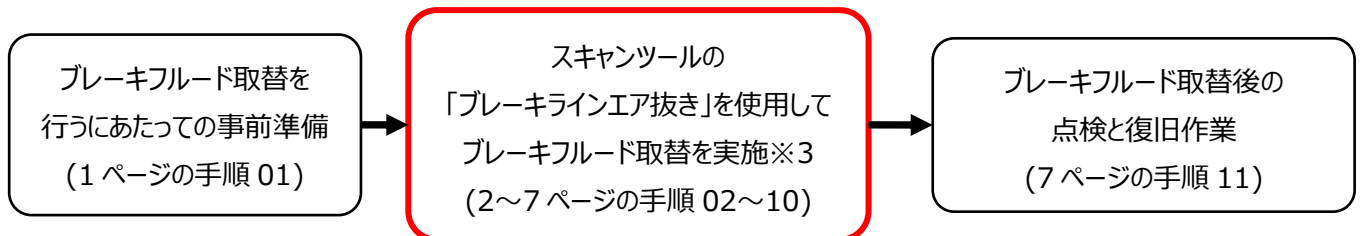
## トヨタ車(60系プリウス、11系アクアなど)の作業サポート「ブレーキラインエア抜き」による ブレーキフルード取替

**注意事項/必ずお読みください**

- 本書は日立ダイアグノスティックツール HDM-10000 用診断ソフトの診断機能の操作方法、活用事例について紹介するものです。自動車メーカー発行の整備解説書を代替するものではありません。
- 実際の作業にあたっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で正式な作業手順、注意事項をご参照のうえ、作業を行ってください。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更されるため、本資料で紹介する機能が使用できない場合があります。

### 1.トヨタ車(60系プリウス、11系アクアなど)のブレーキフルード取替の手順概略

- トヨタ車(60系プリウス、11系アクアなど)ではスキャンツールの作業サポート「ブレーキラインエア抜き」を使用してブレーキフルード取替を行います。※1、※2
- 作業サポート「ブレーキラインエア抜き」を使用したブレーキフルード取替の手順は以下となります。



※1:ブレーキフルード取替は車両によってスキャンツールの使用有無や使用する作業サポートの項目に違いがあります。

ブレーキフルード取替にあたっては事前に自動車メーカー発行の整備解説書を参照してください。

※2:作業サポート「ブレーキラインエア抜き」は HDM-10000 用トヨタ診断ソフト Ver.8.47 以降で使用可能です。

※3:右後輪(RR 輪)⇒左後輪(RL 輪)⇒右前輪(FR 輪)⇒左前輪(FL 輪)の順番で行います。

(次ページに続きます)

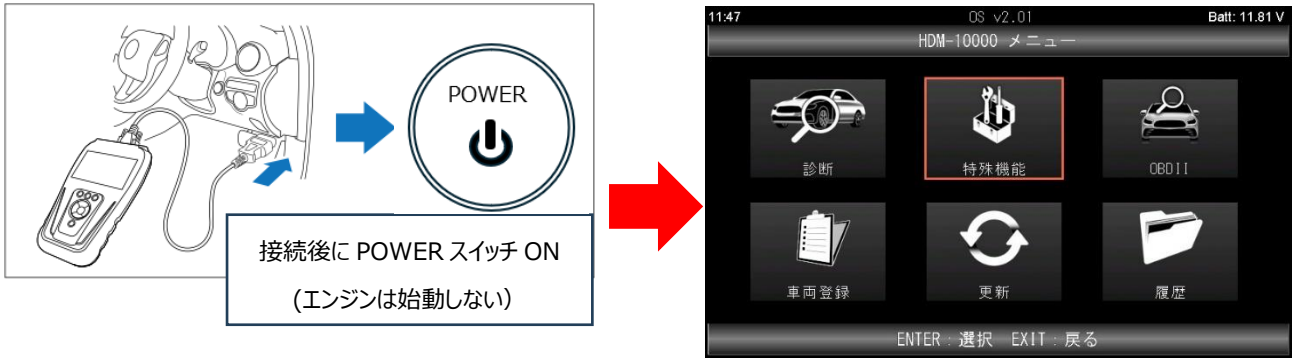
## 2.HDM-10000 用トヨタ診断ソフトの「ブレーキラインエア抜き」によるブレーキフルード取替手順

### 【手順 01:ブレーキフルード取替を行うにあたっての事前準備】

整備解説書を参照して、注意事項の確認と事前準備を行ってください。

### 【手順 02:HDM-10000 の車両への接続】

- ①HDM-10000 を車両側診断コネクタに接続してください。HDM-10000 が起動します。
- ②車両側 POWER スイッチを ON にしてください。
- ③HDM-10000 メニュー内の特殊機能を選択して ENTER キーを押してください。



(次ページに続きます)

### 【手順 03:メンテナンスモードの起動から ABS サポートの表示まで】

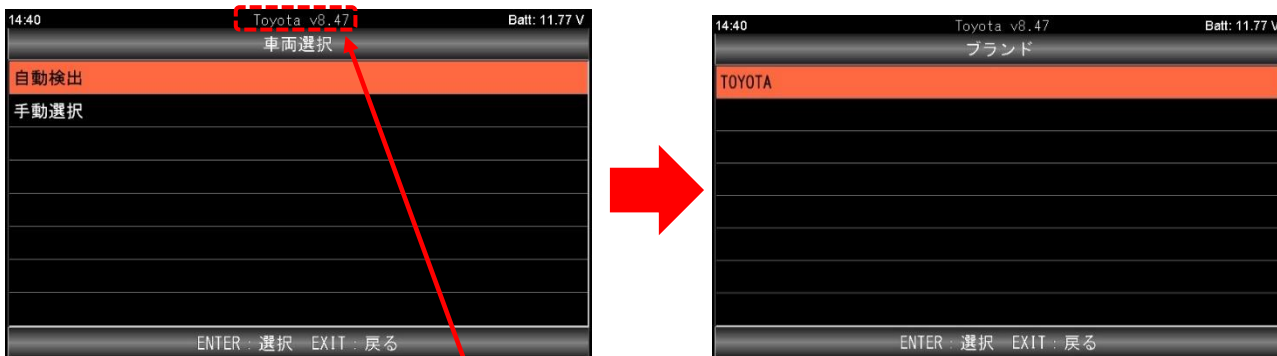
①特殊機能が表示されます。「メンテナンスモード」を選択して ENTER キーを押してください。メンテナンスモードの画面が表示されます。



②「トヨタ/レクサス」を選択し、画面の右側の一覧で「ブレーキ関連交換」を選択して ENTER キーを押してください。



③車両選択の画面が表示されたら「自動検出」を選択して ENTER キーを押してください。そのあとに表示される「ブランド」「車名」「車型」「エンジン型式」「オプション」の各画面で該当する項目を選択して ENTER キーを押します。



画面上部に現在起動中のトヨタ診断ソフトのバージョンが表示されます。Ver.8.47 未満のトヨタ診断ソフトは「ブレーキラインエア抜き」をサポートしていません。診断ソフトのアップデートを行ってください。

④「システム確認中しばらくお待ちください」が表示されたあと「ABS サポート」が表示されます。



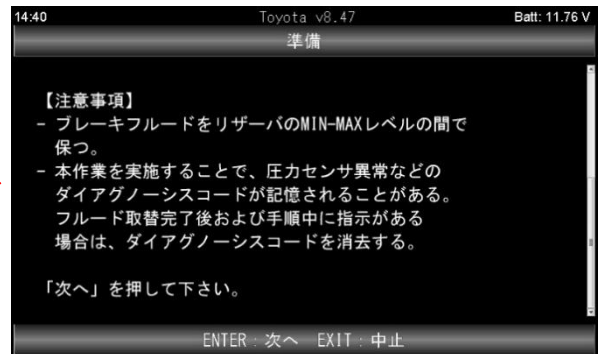
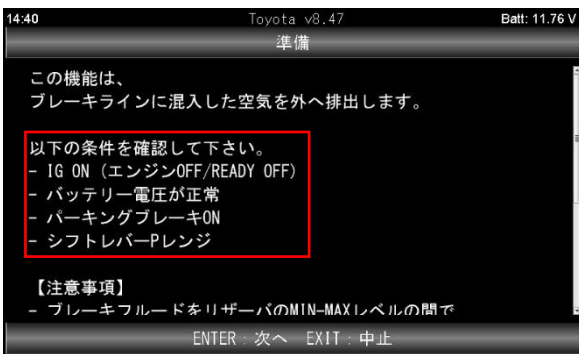
(次ページに続きます)

#### 【手順 04:ブレーキラインエア抜きを選択から Rr 系統エア抜きの実行条件確認まで】

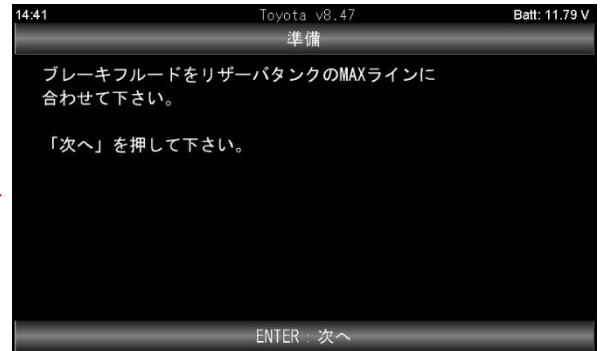
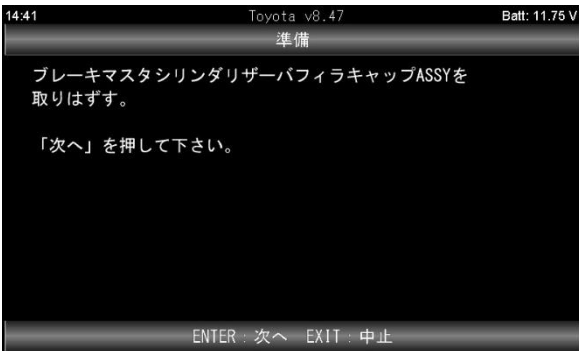
①ABS サポートで「ブレーキラインエア抜き」を選択して ENTER キーを押してください。



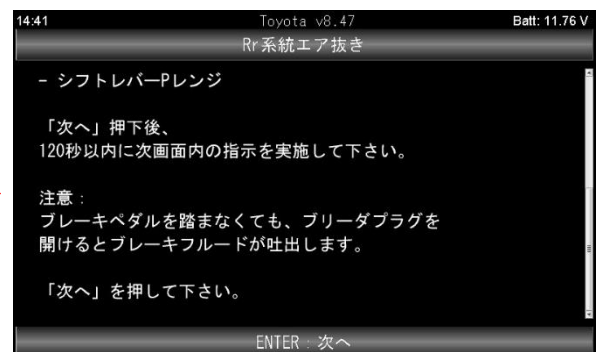
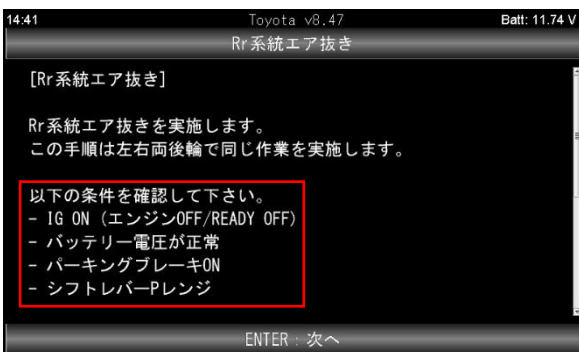
②「準備」が表示されます。表示画面の「以下の条件を確認してください」(赤枠で示す部分)と車両状態が合っているか確認し、そのあとに方向キー下を押して画面をスクロールさせて「注意事項」を確認し、最後に ENTER キーを押してください。



③作業内容が表示されます。表示された作業を行ったあとに ENTER キーを押して、作業を進めてください。



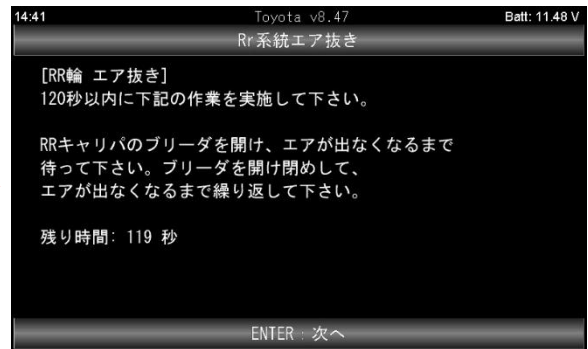
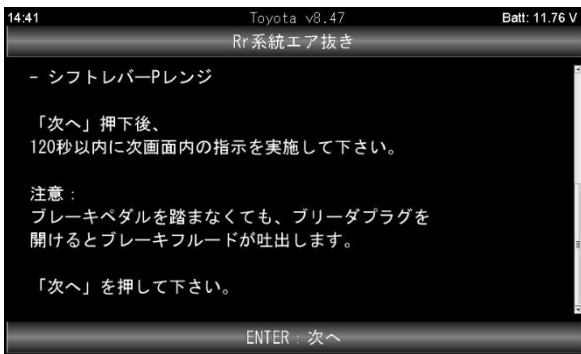
④「Rr 系統エア抜き」が表示されます。Rr 系統エア抜きの内容、実行条件が表示されます。画面に表示されている「以下の条件を確認してください」の条件(赤枠で示す部分)と車両が合っているか確認したあと、方向キー下を押して画面をスクロールさせて、作業内容と注意事項を確認してください。



(次ページに続きます)

## 【手順 05:RR 輪エア抜き(右後輪のエア抜き)】

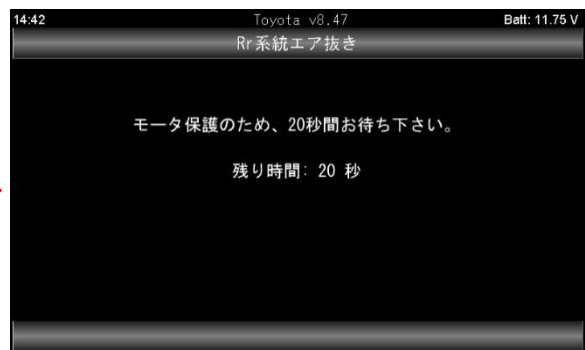
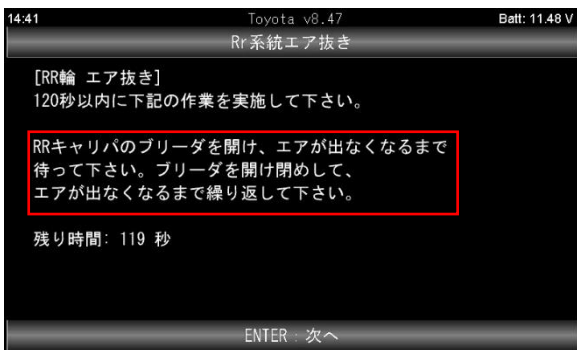
①Rr 系統エア抜きの作業内容と注意事項の確認ができれば ENTER キーを押してください。「RR 輪エア抜き」※1 が表示されます※2。



※1:車両進行方向に向かって右側の後輪のエア抜き

※2:手順 05 実行後は車両側がメーター内の各警告灯を点灯させ、メッセージ(ブレーキライドオーバーライドシステム故障など)を表示します。手順 10 まで実行したあと、車両側 POWER スイッチの OFF から ON までの操作を行うと各警告灯が消灯し、メッセージの表示も消えます。

②画面内の「残り時間:120 秒」の表示が 0 秒になる前(※3)に画面に表示された作業(赤枠で示す部分)を行い、作業が完了したら ENTER キーを押してください。「モーター保護のため、20 秒間お待ちください。」が表示されたら画面内の「残り時間:20 秒」が 0 秒になるまで待機してください。



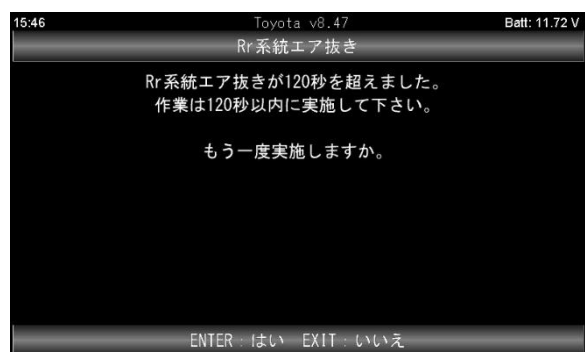
※3:「RR 輪エア抜き」の残り時間が 0 秒になると右図が表示されます。以下㊦㊧のいずれかを行ってください。

㊦ENTER キーを押す

「RR 輪エア抜き」画面に戻ります。

㊧EXIT キーを押す

「ABS サポート」画面に戻ります。ただし、車両側の警告灯とメッセージの表示は継続されます。

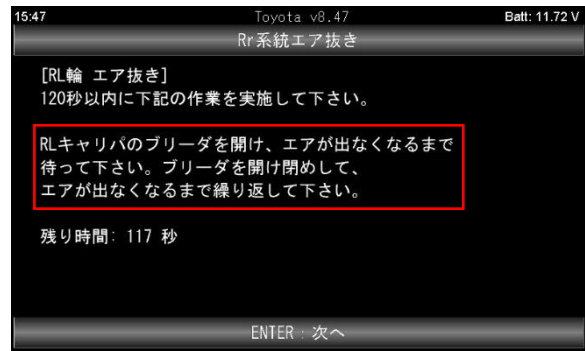


(次ページに続きます)

### 【手順 06:RL 輪エア抜き(左後輪のエア抜き)】

「RL 輪エア抜き」が表示されます※1。

画面内の「残り時間:120 秒」の表示が 0 秒になる前(※2)に画面に表示された作業(赤枠で示す部分)を行い、作業が完了したら ENTER キーを押してください。



※1:車両進行方向に向かって左側の後輪のエア抜き

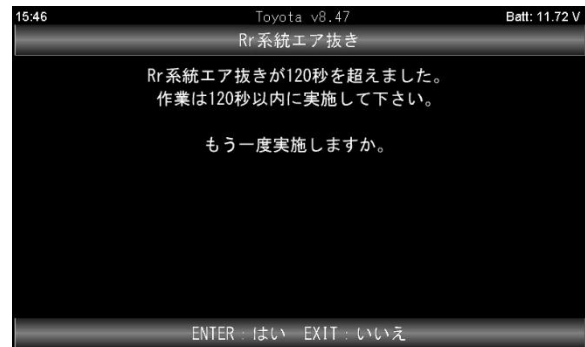
※2:「RR 輪エア抜き」の残り時間が 0 秒になると右図が表示されます。以下㊦㊧のいずれかを行ってください。

㊦ ENTER キーを押す

「RL 輪エア抜き」画面に戻ります。

㊧ EXIT キーを押す

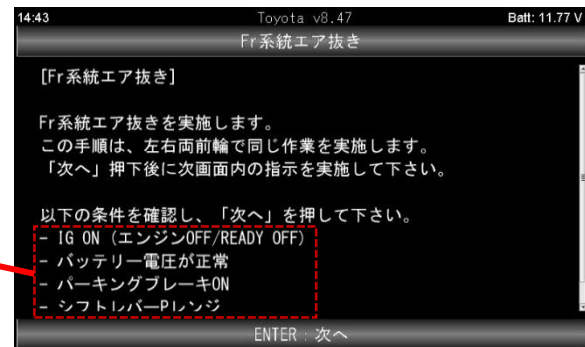
「ABS サポート」画面に戻ります。ただし、車両側の警告灯とメッセージの表示は継続されます。



### 【手順 07:Fr 系統エア抜きから FR 輪エア抜きまで(右前輪側のエア抜き)】

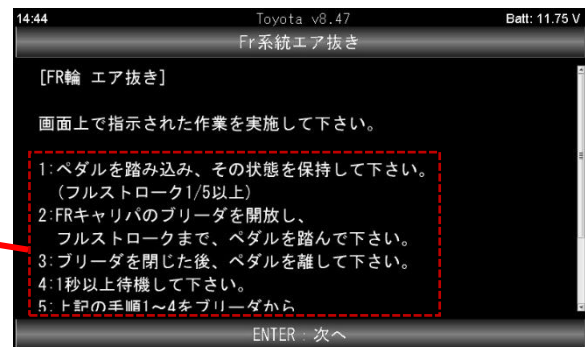
①「Fr 系統エア抜き」が表示されます。方向キー下を押して画面をスクロールさせて、表示されている「以下の条件を確認してください」の条件と車両が合致しているか確認したあと ENTER キーを押してください。

- IG ON (エンジンOFF/READY OFF)  
- バッテリー電圧が正常  
- パーキングブレーキON  
- シフトレバーPレンジ



②「FR 輪エア抜き」が表示されます※。方向キー下を押して画面をスクロールさせて、表示されている 1~5 の作業内容を確認し、作業を行ったあと ENTER キーを押してください。

1:ペダルを踏み込み、その状態を保持して下さい。(フルストローク1/5以上)  
2:FRキャリパのブリーダを開放し、フルストロークまで、ペダルを踏んで下さい。  
3:ブリーダを閉じた後、ペダルを離して下さい。  
4:1秒以上待機して下さい。  
5:上記の手順1~4をブリーダからエアが出なくなるまで繰り返して下さい。



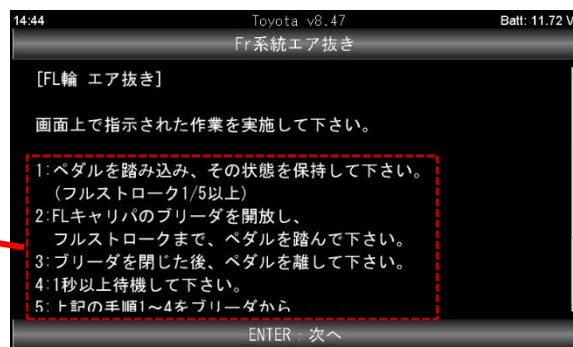
※:車両進行方向に向かって右側の前輪のエア抜き

(次ページに続きます)

### 【手順 08:FL 輪エア抜き(左側前輪のエア抜き)】

「FL 輪エア抜き」画面が表示されます※。方向キー下を押して画面をスクロールさせて、表示されている 1～5 の作業内容を確認し、作業を行ったあと ENTER キーを押してください。

- 1:ペダルを踏み込み、その状態を保持して下さい。(フルストローク1/5以上)
- 2:FLキャリバのフリーダを開放し、フルストロークまで、ペダルを踏んで下さい。
- 3:フリーダを閉じた後、ペダルを離して下さい。
- 4:1秒以上待機して下さい。
- 5:上記の手順1～4をフリーダからエアが出なくなるまで繰り返して下さい。

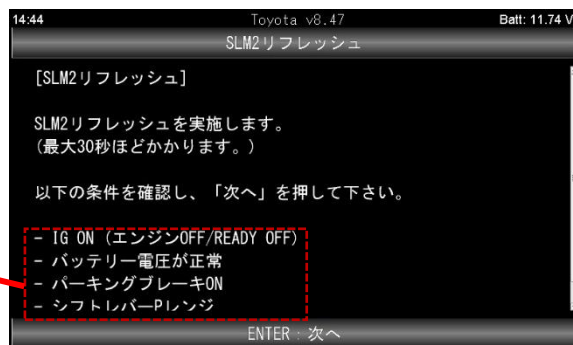


※:車両進行方向に向かって左側の前輪のエア抜き

### 【手順 09:SLM2 リフレッシュからリザーバタンク液面調整まで】

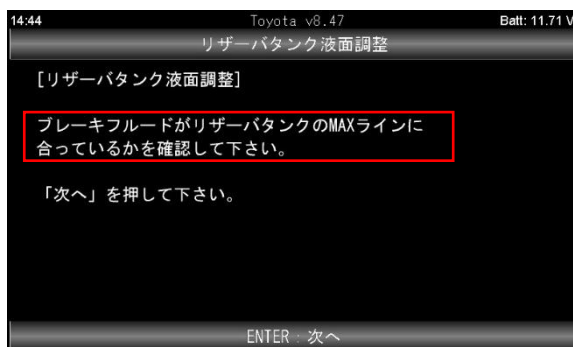
①「SLM2 リフレッシュ」が表示されます。方向キー下を押して画面をスクロールさせて、表示されている「以下の条件を確認してください」の条件と車両が合致しているか確認したあと ENTER キーを押してください。

- IG ON (エンジンOFF/READY OFF)
- バッテリー電圧が正常
- パーキングブレーキON
- シフトレバーPレンジ



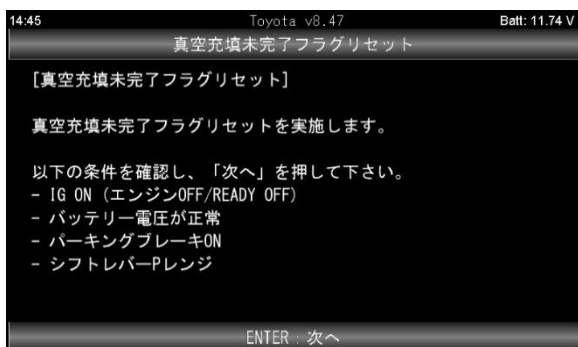
②車両側から駆動音が発生し「しばらくお待ちください。」のメッセージが表示されたあと「リザーバタンク液面調整」が表示されます。

画面に表示された確認(赤枠で示す部分)が完了したら ENTER キーを押してください。



### 【手順 10:真空充填未完了フラグリセット】

「真空充填未完了フラグリセット」が表示されたら ENTER キーを押してください。「しばらくお待ちください。」が表示されたあと「作業完了」が表示されたら ENTER キーを押してください。スキャンツールによるブレーキフルード取替は完了です。



### 【手順 11: ブレーキフルード取替後の点検と復旧作業】

整備解説書を参照し、点検と復旧作業を行い、全体の作業は完了です。

(2025.1 発行)